

第99回

# 寺子屋せんだい

## 3Dプリンタで拓く ものづくりの可能性

～仙台地域の製品開発から海外の先進事例まで～

2015年

10月19日(月) 18:00-

1時間程度の講演終了後、講師を交えた交流会を実施します。

会場 FabLab SENDAI-FLAT

(仙台市青葉区一番町2-2-8 IKIビル4-1)

### こんな方におすすめです

- 3Dプリンタやレーザーカッターの用途や事例を知りたい企業の方
- 実際に3Dプリンタを使ってみたい企業の方
- 大学の先生や仙台経済圏の企業技術者等とのネットワークを作りたい方

### セミナー内容

#### 講演1 | デジタル工芸技法の研究

東北工業大学 坂手 勇次 氏

工業製品のラピッドプロトタイピングで使われることが多い3Dプリンタやレーザーカッターですが、木や紙や石など、古くからある素材への応用について商品化を見据えて行った研究事例をご紹介します。



#### 講演2 | データは国境を超える

～距離を縮めるデジタルファブリケーション

FabLab SENDAI-FLAT 大網 拓真 氏

3Dプリンタを始めとするデジタル工作機械が可能にした、アムステルダムとインドネシアの2カ国間を繋ぐ義足開発プロジェクト。世界中に点在し、データを使ったモノづくりを行う市民工房”ファブラボ”を渡り歩いた経験から、デジタルファブリケーションの様々な活用事例を紹介します。

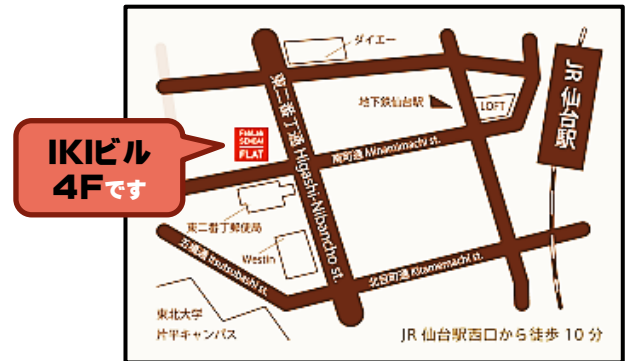


#### トークセッション | 3Dプリンタでどこまで出来るか

3Dプリンタがあれば、ものづくりは解決…という訳ではありません。3Dプリンタのメリット・デメリット、そして将来性について、講師の2人に本音で語っていただきます。3Dプリンタの実演も行います。

寺子屋せんだいは？

地域企業の技術者向けサロン形式セミナーです。地域連携フェローのコーディネートにより、各分野の研究で最前線を走る先生方を講師にお招きし、分りやすく話題提供していただきます。大学と企業のネットワークづくりや新たな事業の創出、既存技術の改良のヒントに、どうぞお気軽にご参加ください。



会費 1,000円(税込) ※当日お支払い、交流会費込み

定員 40名(先着)

申込締切 2015年10月15日(木)

### ○講師

坂手 勇次 氏

東北工業大学ライフデザイン学部  
クリエイティブデザイン学科教授/  
仙台市地域連携フェロー



京都工芸繊維大学工芸学部意匠工芸学科卒業。工学士。オムロン(株)広報宣伝部、デザイン部、経営戦略部、技術本部企画室長、オムロンF Aストア(株)代表取締役社長などを経て、平成25年4月より東北工業大学教授。平成26年4月フェロー就任。

大網 拓真 氏

FabLab SENDAI-FLAT  
デザイナー/エンジニア



九州大学芸術工学部卒業。オランダのファブラボ・アムステルダムにて市民工房ファブラボと出会い、同工房にてインターンを経験する。2014年にファブラボコミュニティが運営するFab Academy卒業。誰もがモノづくりに挑戦できる環境を目指しファブラボ仙台に携わっている。

申込・  
お問合せ

当事業団ホームページ (<http://www.siip.city.sendai.jp/>) の申込フォーム、または「第99回寺子屋せんだい申込」と明記し、氏名・所属団体名・部署(役職)・電話番号・メールアドレスを明記の上、メールかFAXでお申込ください。(様式自由)

公益財団法人仙台市産業振興事業団 地域産業振興部 新事業推進課 担当: 吉田・望月  
電話: 022-724-1212 FAX: 022-715-8205 Eメール: shinjigyo@siip.city.sendai.jp